

SSKS

2024. 7月号

No. 564

せんかわだより

～あるがままに あたりまえに～



「これからも安心して利用していただきたい」
という想いを込めて・・・



6月7日（金）に武蔵野スイングホールにて「令和6年度 法人家族懇談会」を開催しました。当日の出席者は40名を超え、後日動画配信も行い、多くのご家族に当法人のとりくみを知っていただく機会となりました。

法人全体の状況、各支援部・事業の状況を知っていただくことで、これからも安心して当法人をご利用いただき、法人の事業を応援していただきたいと思っております。



社会福祉法人 武蔵野千川福祉会

<http://www.musashino-senkawa.com>



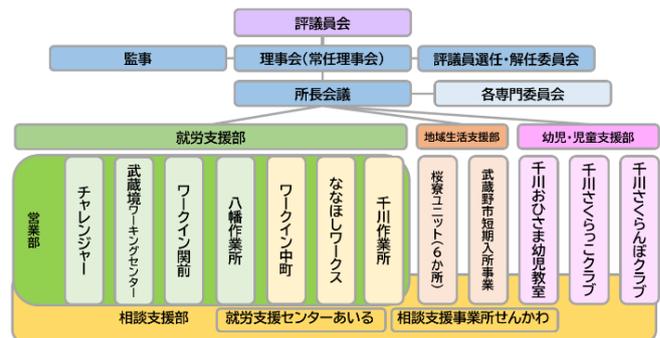
とりくみの“今”をお伝えする

目的を理解していただくために

武蔵野千川福祉会では、事業所の利用者家族を対象に、法人全体と各事業の前年度と今年度のとりくみをお伝えする場として、毎年法人家族懇談会を開催しています。

今年は6月7日（金）10時から、武蔵野スイングホールにおいて開催しました。平日にもかかわらず、会場出席者は46名で、オンデマンドで内容を視聴していただいた方は75名となりました。法人全体の利用者数が約180名ですので、半数以上の方に出席いただくことができました。法人家族懇談会は、法人全体と各事業のとりくみの目的をお伝えして、何を目標しているのかを、ご家族に知っていただくことで、安心していただくことができるようにする機会としています。3月から準備を始め、内容を検討し、何をお伝えすべきかを整理し、わかりやすい説明になるよう工夫をすすめてきました。

社会福祉法人武蔵野千川福祉会 組織体制



令和5年度の成果と課題・令和6年度の目標

【法人全体の報告】

はじめに、菅野理事長より、令和5年度の法人のとりくみの概要についてご説明しました。

次に、唐澤常務理事より、令和5年度の法人全体の成果と課題、令和6年度の計画、経過、利用者・職員について、重点的なとりくみとして新規事業所の開設等をお伝えしました。



【 沢山の方々に伺いました 】

【各事業からの報告】

当法人は、武蔵野市内で19の事業所を運営しています。各事業の内容ごとに4つの支援部を構成しています。①幼児・児童支援部、②就労支援部（生活介護事業、就労継続支援B型事業）、③地域生活支援部、④相談支援部です。それらの部のとりくみを常任理事会や所長会議で共有し、改善も図っています。

今回の懇談会も各部ごとに令和5年度と令和6年度のとりくみについてご説明しました。

はじめに、幼児・児童支援部について、令和5年度は厚生労働省のガイドラインに沿って事業概要を整理し、事業ごとのパンフレットを作成しました。

また、令和6年度はガイドラインの見直しが予定されているので、それに沿った活動プログラムの構築を進めていきます。

次に、就労支援部の生活介護事業では、法律に基づいた支援内容の提供について整理と見直しを進めています。また、生産活動の在り方の見直しをすすめ、工賃改訂も行いました。令和6年度は事業ごとの活動の時間割の作成、各活動の目的・目標（利用者の目指すべき姿）の共有、中期計画に沿った活動の提供を進めていきます。

就労支援部・就労継続支援B型事業では、利用者のはたらく力を育て、しごとに向かう態度の育成に向けた支援として、就労継続支援B型事業のとりくみ報告の後、令和6年度は、はたらく力にあわせた環境の提供、知識・技能、態度を育てる支援、「学びの機会」の提供を進めていきます。

地域生活支援部では、利用者が健康的で安定した生活を送るために、職員による通院同行や買い物同行の支援の状況の説明、グループホームでの暮らしの中で利用者ができるようになったこと等、具体的に報告しました。働く、活動することの土台となる地域生活を支えています。

令和5年度から立ち上げた相談支援部では、その経緯とともに、サービス等利用計画の作成、他機関との連携、入所・実習・事業所異動などを担っていることを報告しました。また、通所事業所での利用者異動の目的、根拠などを改めてご説明し、ご理解とご協力をお願いしました。



【 動画をつくり、活動の様子を紹介しました 】

「知りたい」に伝えていく

ご家族の皆様からは事前に多くの質問、ご意見をお寄せいただきました。その内容にお答えする質疑応答の時間を30分間設けました。今回の懇談会で働くこと、暮らすこと、将来のことなどさまざまな「知りたいこと」があることがわかりました。その中でも最も多かったのが、グループホームについての内容で、夜間支援のあるグループホームや、グループホームの建設を希望されるなどのご意見、ご質問をいただきました。法人の現在のとりくみとしては、希望する利用者にグループホームでの支援の介入度を減らしながら、より一人暮らしに近い形の暮らしにチャレンジできるしくみをつくり、グループホーム利用を広げていくこともお伝えしました。

今後もゆらぐことなく

最後に、障害福祉サービスも介護保険同様3年ごとの「報酬改定」があり、報酬や制度が見直されるしくみで、常に法制度等が変わっていくことが予想されます。そのような情勢のなかで法人の運営も、厳しくなることがあるかもしれません。それでも、法人としてこれまでのように向かうべき方向を定め、今利用してくださっている方、今後利用を希望している方々の、期待に応え、また地域の福祉の増進のために、障害のある彼ら彼女らとご家族が安心できるとりくみをこれからもゆらぐことなく、継続していきます。

（文責：相談支援部 安藤 直子）

“千川地域夏祭り” が 開催されます♪

7月20日（土）16時～

今年も千川小学校校庭で『千川地域 夏祭り』が行なわれます！

武蔵野千川福祉会ではフランクフルトや焼きおにぎりを出店します！ほかに、盆踊り・和太鼓演技などの催し物と模擬店、焼きそば・焼き鳥・わたあめ・駄菓子・飲み物なども多数出店しますので、皆様、ぜひお立ち寄りください。



【とびっくす】～インスタだより vol.13～

#ひびき福祉会



6月12日、東大阪より

ひびき福祉会の亀井理事長と川崎理事にご来訪いただきました。

利用者に激励のお言葉をいただいたあと、きょうされんでつながりのある、多摩市のれすとさんにもご案内いただきました。

障害のある方のために、志を同じくする方々と協働していきたいと思っております。



亀井理事長、川崎理事と

今月の動向 ～令和6年6月～

- 4日(火) 地域生活支援部学習会
- 5日(水) 放課後等デイサービス学習会
児童発達支援学習会
第1回理事会
- 7日(金) 法人家族懇談会
常任理事会
- 21日(金) 第1回評議員会
- 27日(木) 常任理事会

来月の予定 ～令和6年7月～

- 1日(火) 地域生活支援部学習会
- 4日(木) B型事業所学習会
- 5日(金) 職層別研修(一般職)
- 10日(水) 常任理事会
生活介護学習会
- 19日(金) 就職説明会
- 23日(火) 常任理事会
- 25日(木) プライバシーマーク現地検査
- 26・27日(金・土) ヤマトフォローアップ研修



社会福祉法人 武蔵野千川福祉会

<http://www.musashino-senkawa.com>

<発行人> 特定非営利活動法人 障害者団体定期刊行物協会 東京都世田谷区福形3-1-17-102 TEL 03(6277)9611

<編集人> 社会福祉法人 武蔵野千川福祉会 東京都武蔵野市境南町4-20-5 TEL 0422(30)0022 定価 50円